

広 報

なかつえ

2002年5月号

No.429



僕たちも応援しています ガンバレ！カメルーン



なかつえの人口と世帯 (4月末現在)

人 口	1,362人 (± 0)
男	665人 (+ 2)
女	697人 (- 2)
世帯数	498戸 (+ 2)

発 行 / 中津江村
編 集 / 総務課企画情報係

たちよ!

カメルーンキャンプ 受入準備整う



世界中のサッカーファン、スポーツファンが熱狂する瞬間がいよいよ目前に迫ってきた。三十二カ国で争われるワールドカップ、一次リーグの開幕は五月三十一日。

本格的な受け入れ態勢に入って、はや四ヶ月。カメルーン共和国チームのキャンプ受入準備もほぼ整い、五月十九日の来村を待つばかりとなった。キャンプ地決定とともに始まった、信じられないような各種メディアの取材攻勢に途惑ったものの、住民の積極的な取組みに押される形で、中津江有史以来はじめての巨大イベントへ向けて、様々な活動が行われてきた。

キャンプを安全に終えることが一番の目的ではあるが、小さな村が一体となって受入体制整備のために知恵を出し合い、協力し合ってきたこと、これこそが今回の一番大きな成果ではなからうか。さあ、もうひと頑張り。



▲知事も陣中見舞い



▲保育園児のカメルーン国旗づくり (表紙)



▲老人クラブの手旗づくり

カメルーンチーム日程

- 5月19日【夕方来村】
- 5月20日【午後】
 - 中津江村主催の歓迎式典
 - B & G 体育館
 - 村民のみの入場です。招待状を忘れずにお持ちください。時間は追ってお知らせします。
- 大分県高校生選抜チームとの公開練習試合
- スポーツセンター第2グラウンド
- 整理券と車両入場券を忘れずに
- 5月21日【終日】
 - 非公開練習
 - 選手練習のため見学できません
- 5月22日
 - J2 サガン鳥栖との国際親善試合
 - 鳥栖スタジアムで19時キックオフ
- 5月23日・24日【終日】
 - 非公開練習
 - 選手練習のため見学できません
- 5月25日
 - 親善試合へ向けて早朝出発
- 5月26日
 - アンプロチャレンジ
 - イングランドとの親善試合



来たれ!

『不屈のライオン』



▶ 完成した選手の部屋



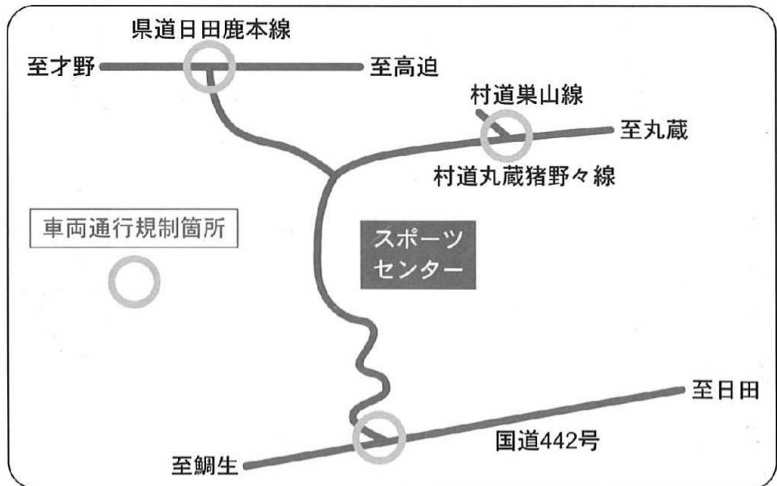
▶ 青年団の力作 不屈のライオン!!



★車両通行規制のお知らせ

キャンプ期間中、右の図の3箇所ですべて車両通行規制を行います。

「通行許可書」の無い車両は、通行できませんので、必要な方は「キャンプ推進本部」へお申込下さい。なお、「通行許可書」があってもスポーツセンターの施設内への出入りは出来ませんので、あらかじめご了承ください。



- 神戸で15時キックオフ
 - 終了後中津江村へ
 - 5月27日【終日】
 - 非公開練習
 - 最終調整のため見学できません
 - 5月28日
 - 早朝、中津江村を出発し、山梨県富士吉田市へ
- ※日程はチームの都合で変更することがありますので、予めご了承ください。

ワールドカップ1次リーグ 【グループE】

- 6月1日(新潟) 対アイルランド戦
- 6月6日(埼玉) 対サウジアラビア戦
- 6月11日(静岡) 対ドイツ戦
- 20時30分キックオフ

★みんなでカメルーンチームを応援しよう!!

※注意事項

キャンプ期間中は、多くの人の中津江村に入ってくることを予想されます。家や車には十分ご注意ください。
不審な人や車を見かけたら、警察や役場へ御一報ください。

保健師だより



痴呆性老人

「こころの相談日」のご案内

日田玖珠保健所では、月に1回、精神科医師による相談窓口(予約制)を開催しています。

日時：毎月第3火曜日

10:30~12:00

場所：日田玖珠保健所 1階診療室

問合：日田玖珠保健所 (☎23-3133)

※地方の悩み電話相談 (☎24-4165)

(受付/9:00~12:00)

肝炎検診(血液検査)を実施しています

国の事業として、今年から5年間の期限付きで肝炎検査を実施していきます。

- ① 満40、45、50、55、60、65、70歳の方
- ② 過去に肝機能に異常があったと言われる方
- ③ 大きな外科的治療または輸血をしたことがある。以上が対象者で、1人1回限りの血液検査を実施します。村では住民検診の時に実施しています。

GWも大盛況

鯛生金山19年目の春

昭和58年にオープンした九州初の地底博物館「鯛生金山」。オープン当時は、その珍しさから、年間50万人にも及ぶ観光客を擁した。今でこそ入坑客は10万人程度になったものの、わさび漬け体験を始め、人気のゴールドハンティング、四季折々のイベント開催など、あの手この手で20万人を超える来場者を集める九州でも有数の観光地である。平成12年には「道の駅」に指定され、来年度には新たな施設整備も計画されている。今年のカメルーン効果もあってか、3月は昨年の50%増の入坑客が訪れている。来年の20周年に期待したい。



雨天でも大にぎわいのゴールドハンティング

役場職員人事異動

○総務課 () 内は旧任
(平成十四年四月一日付け)

主査 水野 浩司

主事補 清田 信洋 (鯛生金山)
(新採用)

○住民課

課長 佐藤 潤 (総務課)

○教育委員会

次長 川津 憲司 (住民課)

※退職

永瀬 宝 (教育委員会次長)

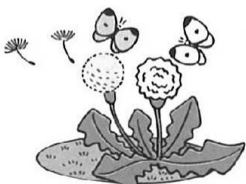
猪熊 雅子 (総務課)

岩下 真紀 (保育園)

○森川緑課 (新設)

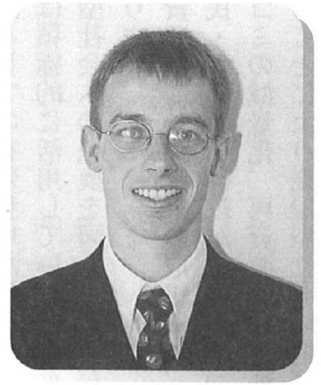
課長 長谷部建美 (産業課)

主任 伊東 寿憲 (産業課)



Tyler's world

『中津江 Let's GO!』



今月の村報が配られたらカメルーン代表チームはもう鯛生スポーツセンターに来ているだろう。それかもうそろそろ来るところです。皆様がいろんな歓迎準備のために大変ご苦労したと思います。お疲れ様でした。

この文書を書く前日にとってもいい話を聞きました。4月末に私の東京に住んでいる韓国人の友達が韓国に帰ったときに偶然に去年の夏に行った日韓交流アートキャンプ・イン・中津江に関った2人に会い、その東京の方も中津江に来たことがあって中津江の話になりました。中津江の話で盛り上がったみたいです。よく考えたら中津江の話があったためその3人は韓国で出会って仲良くなれました。ついでにアートキャンプ・イン・中津江に関った方が言っていたのは去年アートキャンプに参加した韓国の子供達はまだまだ中津江村の話をしているそうです。ある子供達はまだ中津江の子供達と連絡しているみたいです(英語で!)

この話を聞いて思いました、ワールドカップ

を通じて、中津江村の友好関係の輪が大変広がりました。ワールドカップがなかったら、婦人会も韓国に渡ってキムチ作り学ぶことができなかったでしょうし、青年団も韓国に行かれなかったでしょうし、連絡をまだまだとっている中学生もアートキャンプに参加できなかつたらと思います。そして、カメルーン代表サッカーチーム、全国のマスコミ、全世界のマスコミの方々との関係はできなかつたらと思います。そのうえ中津江村はワールドカップに関ったため、全国、全世界にしられるようになって中津江村と出会いたくなつた人達も信じられないくらい多く増えたでしょう。

最後に、中津江村の皆様が花植から看板作りから帽子作りからベッド運び、様々なカメルーン歓迎活動を通じてお互いともっと仲良くなれたらと私が参加して思いました。

今後もしばしば友達できるといいね。

Tyler



守っていますか？

資源ゴミの分別収集

今年四月からスタートした資源ゴミの収集。ゴミの出し方に迷惑している皆さんも多いのでは。

五月三日は憲法記念日であるとともに、『ゴミ』の日でもあります。都市部では、ゴミ処分場のピンチが叫ばれて続けます。豊かな自然環境、快適な生活環境を守っていくためにも、今一度ゴミの問題に目を向けてみてください。資源ゴミ収集から一ヶ月、あなたはルールを守っていますか？

資源ゴミの収集実施の経緯

生活様式が多様化したことに伴い、廃棄物の排出量・種類も増加し、処理場の逼迫化という社会問題となっています。

このような廃棄物問題の解決には、大量生産・大量消費・大量廃棄というライフスタイルの見直し、資源としての有効利用が可能なものは積極的に活用していく資源循環型社会への転換を図る必要性があります。

資源ゴミ分別収集の取組みは、住民・事業者・行政が一体となつてゴミの減量化、再資源化を促進することにより循環型社会の構築、

さらにはゴミ処分場の延命化にながって行くことになり、快適な生活環境の創造につながります。

近隣市町村の実施状況

日田市では平成十三年度に既に十四種類に分別して収集、十四年度からはさらに一分類増やして十五分別を実施しています。玖珠・九重町では平成十二年度から四種類の分別収集を実施しています。

こうした中、日田郡では玖珠・九重と同様、平成十二年度から四種類の分別収集を開始、平成十四年度から、それまで可燃ゴミであった新聞紙、ダンボール等の紙類

及び布類を新たに資源ゴミとして位置付け、分類の種類を五種類としました。

実施一ヶ月の効果と注意点

日田郡全体として、約二四トンの資源ゴミの収集ができました。

中津江村では一ヶ月で約二・五トンの資源ゴミの収集があり、本来焼却処理されていたことを考えると、処理場の延命化がわずかながら図られたと考えられます。ただし、分別の手間がかかることから、まだまだ資源ゴミと燃えるゴミとの分別が確実に行われていないことが多く見受けられます。循環型社会の構築へ向けた取組みとして、今後一層、分別の徹底を図っていかねければなりません。

今後の分別収集の見通し、問題点

容器包装リサイクル法が平成十二年四月に完全施行されて、分別収集を取り組む市町村は増加傾向にあります。今後分別収集されたものが確実に再商品化される体制の整備が進み、また容器包装物の識別表示が義務付けされていくと、

一層分別収集が皆さんに浸透していくこととなります。

九州内でも、資源ゴミの収集に力を入れている地域が数多くあり、熊本県八代市では、燃えるゴミ以外の資源ゴミだけで二十種類の分別があり、月に二回のペースで収集を行っています。中津江でも近い将来、分別の種類を増やす計画があります。

ただし、今後分別収集を推進していく上で、収集運搬の増、ゴミ集積所の問題、中間処理料、処分場の問題等、費用負担の増につながる要因も多く、関係機関での十分な協議が必要となるでしょう。

ゴミ収集量の推移

(中津江村分)

単位：t

年度	可燃ゴミ	その他	合計
平成11年度	123	42	165
平成12年度	146	42	188
平成13年度	146	39	185

中津江村

vol. 1

宿泊交流体験館 だより

森 千鶴子さん (福岡県宗像出身)

プロフィール

- ・生まれ/昭和43年5月24日生まれ(双子座)
いちご農家の長女です。
- ・職業/コピーライター。雑誌の記事、ホームページや印刷物の企画構成広告などの制作。
目標は農業記者になることです。
- ・趣味/バードウォッチング(最近はじめました)
- ・好きな言葉/ないものねだりより、あるもの探し



平成十三年三月に完成した「中津江村宿泊交流体験館」。今年四月には九部屋全室が入居者で埋まり、それぞれのスタイルで、村での新しい生活を楽しんでいきます。最長三年間の体験館の暮らしの中で、公民館講座の講師を引受けたり、金山に写真を展示したりと、住民との交流も広がっています。今回は、村の観光パンフレットの制作を手がけ、四月から新たに入居した森千鶴子さんにお話を伺うとともに、村の生活を紹介した『森の新聞』を掲載させていただきます。外から見た中津江村、皆さんにも再発見があるのでは！

ピン・ポン・パン・ポーン
皆さんおはようございます。

カメルーン推進本部から お知らせします

本日朝7時の村内放送です。放送は防災無線(たぶん)で、村内全域に放送されます。今日はこの他に、住民検診の場所、期間、時間なども放送されました。道路工事通行止めのお知らせ、お通夜、お葬式のお知らせなど、村に住む人に関係あることはだいたいお知らせしてもらえます。

ここはラジオが入りにくく、引っ越した当初はテレビも映らず、新聞も取らず、ネットもつながらず、というノーマディアの日々が何日かありました。その時この村内放送は私の貴重なメディアでした。「カメルーンを花で歓迎する会」の花植えボランティアも、この放送で知って参加することができました。

また中津江村の村内放送のすばらしいところは、専門のうぐいす嬢が、きちんとしたアナウンスで、きっちりと放送して下さることです。うちの実家のほうも地域ごとに集会の案内などは放送しますが、近所のおいさんがマイクの音量も何も考えず、でたらめな文面で放送するので、朝から気分が悪い(というか笑っちゃう)時があります。その点、ここの村内放送は……。「ボランティアのたくさん参加ありがとうございます」とかそんなことまで言ってくれちゃう。行き届いています。

このインターネットな、インタラクティブな、ブロードバンドの時代、各行政もIT対策でホームページによる情報発信をしています。ホームページをみれば、もちろん今日の行事は分かるようになっている。しかしながら、過疎・高齢化が進む農村部で最も親切で住民のひとりひとりに情報を伝達できるのは村内放送かもしれません。みなさんも村に泊まって村内放送聞いてみませんか?こんなきちんとした放送をしてくれるだけで、中津江村は住みやすいし、行政サービスが行き届いているな、なんて感じている単純な「もりち」でした。

〈森の新聞社〉中津江支局

中津江に住もうと思われた理由は?

人のあたたかさやバイタリティ。自然の素晴らしさ。市ノ瀬の方々との交流を通じて村の良さをしみじみと感じたことから。

実際に住んでの印象は?

人々が大らかでやさしい。鳥が多い。

森・川・緑が美しい。

生活のペースはどんな感じですか?

仕事の関係で村にいられるのは月の半分ほど。福岡や取材先と往復しな

がら暮らししています。

今後の活動予定など

村に居る時間をもう少し増やしたいです。村のお母さんに郷土料理を教わったり、森を歩いたりといった時間を持たたいのですが、現状ではまだ実現できません。よそ者ですが、中津江のいいところをたくさん発見して村の方々と楽しみたいですね。

村の人へひこう

「もりち」と呼んで、どうぞなかよくしてください。



離職者支援資金制度

大分県社会福祉協議会では、失業者によって生活の維持が困難となった世帯へ再就職までの生活資金として「離職者支援資金」の貸付を行っています。

- 貸付限度額 月額二〇万円
 - 貸付期間 十二ヶ月以内
 - 貸付利率 年三%
 - 連帯保証人 原則二名
- ※ 貸付対象者や償還の方法など詳しい問合せ及び申込は、中津江村社会福祉協議会へ
 〈五五四―三二一〇〉

研修制度の活用を!

電源地域研修センターでは、地域の人材育成のための各種研修事業を実施しています。内容も、地域づくりから産業の振興、特産品の開発まで約三十件のテーマで実

践的な研修となっています。研修先は東京が主ですが、先進地での実践研修も計画されています。

また、参加費、旅費等も四分の三が助成され、自己負担も大幅に軽減されています。日程や参加費等についての詳しい問合せは、役場総務課へお気軽にどうぞ。

インシシ被害防止電気柵

インシシの農産物への被害を防止する「電気柵」の設置を希望される方は、役場産業課までお知らせ下さい。申請書をお送りいたします。

なお、「電気柵」は本体一台、支柱、ガイシ、電線で一セットとなっていて、電線は五〇〇mと一〇〇mの二種類があります。また、個人負担は一台二万円から二万五千円を予定しています。

平成十四年度事業受付期限
平成十四年六月三十日

大分県二村ウォーキング

大分ウォーキング協会では、健康と生きがいのため、また人や自然とのふれあいを通して「ふるさ

と・大分」を再発見するため五年間かけて、大分県内の全市町村でのウォーキングを実施します。初年度の今年、まずはワールドカップに関係する市町村から始められるため、中津江村でも次のとおり実施されます。お気軽に御参加ください。

期日／平成十四年六月九日(日)
内容／七キロと十五キロの

二コース

参加／一人三〇〇円

申込期限／五月二十八日

詳しい問合せ申込みは、役場産業課へ

ひまわり号

体に障害を持っている人と持たない人が、一日の旅を通してお互いが理解を深める場として、ボランティアの方々と一緒に列車やバスを走らせる「ひまわり号」。五月二十六日、日曜日に豊肥東部地区の「ひまわり号」が鯛生金山にやってきました。ボランティアの募集とともに、多くの方のご参加をお願いいたします。時間や内容などの詳しいお問合せは役場住民課へ。

御寄付お礼

■山本自治公民館へ
(香典返し)

合谷 育生 様

五〇、〇〇〇円

■社会福祉協議会へ
(香典返し)

合谷 育生 様

三〇、〇〇〇円

古澤 彦常 様

三〇、〇〇〇円

川津三千尋 様

一〇〇、〇〇〇円

(見舞返し)

平 利治 様

五〇、〇〇〇円

慶 弔

●お悔やみ申し上げます

中西

古澤 初子 様

原部

川津ハツノ 様

●お誕生おめでとうございます

池の山

杉山 由己 くん

(博文・亜紀)

お知らせ

「ダメ。ゼッタイ。」は 薬物乱用防止の合言葉！

大分県では6月20日から7月19日までの間を薬物乱用防止の強化月間として「ダメ。ゼッタイ。」普及運動を実施します。シンナー、覚せい剤など薬物の乱用は、利用者個人にとどまらず、その家族、さらには社会全体に悪影響を及ぼし、殺人、傷害、交通事故などの事件・事故は大きな社会問題となっています。

あなたの身近に迫っている薬物乱用の恐ろしさを認識し、「ダメ。ゼッタイ。」の合言葉のもと、薬物乱用防止の輪を広げましょう。

「はなしなしか」無料 歯科健診のご案内

日時：6月4日(火)
午前9時～午後5時
場所：県下の無料歯科健診ポスターを掲示している歯科医院
主催：大分県・県歯科医師会
豊の国8020運動推進協議会
協賛：㈱サンスター
「歯の無料健診日」のポスターを掲示している歯科医院では、6月4日に限り、無料で歯科検診を実施します。

受診者には健診結果を記載した「歯の健康手帳と記念品」をお渡しします。

噛むことは全身の健康と美容に深くつながっています。80歳まで20本の歯を保つよう今から心がけましょう。

大分県職員・ 警察官採用試験

大分県では平成14年度の大分県職員及び警察官の採用試験を下記により実施します。

◎大分県職員試験
(上級・中級・医療免許)
試験日：6月23日(日)
受付期間：5月28日まで
受験年齢：21歳～28歳
◎警察官A試験(大学卒)
試験日：7月14日(日)
受付期間：5月28日まで
受験年齢：30歳まで
問合せ：大分県人事委員会
総務課任用係
(☎0975-36-1111
内線5200)

タバコによる 火災にご注意！

タバコによる火災は、全国的にみて火災原因の上位を占めています。

タバコを出火原因とした火災の多くは、タバコを吸う人の火気管理がしっかりしていなかった場合や、不注意等によるものです。

タバコを吸う人は、火災を防止するため、まずは次のことに気をつけましょう。

- ▽タバコの投げ捨てをしない
- ▽寝タバコをゼッタイしない
- ▽火がついたままタバコを放置しない
- ▽灰皿のあるところで吸い、確実に火を消す。

日田消防署大山出張所

知識のユニバース 「放送大学」

放送大学では平成14年度第2学期学部生・大学院修士科目生(10月入学)学生を募集します。

募集期間：
・教養学部、大学院修士科目生
6月15日～8月15日

・大学院修士全科生
9月1日～9月14日
○資料請求・問合せ
放送大学大分学習センター
(☎097-549-6612)

調理師試験を 実施します

平成14年度の大分県調理師試験を下記のように実施します。
試験日時：7月25日(木)
午前9時30分～11時40分
試験場所：別府大学
願書提出：6月17日から6月21日までに日田玖珠保健所へ提出してください。
受験料：6,100円
問合せ先：大分県日田保健所
総務企画課(☎23-3133)

フォークリフト 運転技能講習会

実施日時：6月24日～
6月27日
午前8時50分～午後5時
実施場所：日田市勤労青少年ホーム
申込締切：6月10日
講習人員：40名
問合せ及び申込先：
日田市工業連合会事務局
(☎22-8239)

技術講習会 (パソコン・表計算) 受講生募集

募集期間：7月1日～8日2日
講習内容：職能パソコン3級
対象者：再就職を希望する女性で、全日程参加可能な方
受講料：無料(但し検定料、テキスト代等実費自己負担)
講習会場：日田地方振興局内
申込日時：6月3日、4日
10:00～11:00
(11:00～12:00に面接、筆記試験を実施)
申込受付：日田地方振興局
4階研修室
問合せ先：日田地方振興局
労政課(☎23-2673)

日田市郡1市2町3村を結ぶ討論集会 市町村合併を考える リレーシンポジウム

イチ ニ サン
1 2 3

自分たちの住んでいる市町村の将来や市町村合併について、みなさんと一緒に考えるため、各市町村でリレーシンポジウムを開催します。

どなたでも参加できますので、お誘い合わせのうえ多数ご参加ください。

主催/日田市郡合併協議会準備委員会

共催/日田市・前津江村・中津江村・上津江村・大山町・天瀬町

市町村	とき	ところ
日田市	5月30日(木) 午後7:00~9:30	日田市中央公民館 (文化センター)
上津江村	5月31日(金) 午後7:30~10:00	上津江村活性化センター
天瀬町	6月7日(金) 午後7:30~10:00	J A天瀬基幹支店
前津江村	6月10日(月) 午後7:30~10:00	前津江村民体育館
中津江村	6月17日(月) 午後7:30~10:00	中津江村民ホール ウッド・アイ
大山町	6月26日(水) 午後7:00~9:30	大山町文化センター

郡民体育大会が始まります

県体予選を兼ねた日田郡民体育大会が、下記のとおり開催されます。参加される選手の方々、練習とともに本大会でのご活躍を期待しています。

頑張ってください!

●主な開催種目

月日	種目	会場
6月2日	陸上競技	天瀬町
6月9日	剣道	大山町
	ゲートボール	天瀬町
	バレーボール	前津江村
	バドミントン	中津江村
6月15日	アーチェリー	中津江村
6月16日	水泳	天瀬町
	ゴルフ	菊池市
6月21日	ボウリング	日田市
6月23日	サッカー	天瀬町
6月26日	柔剣道	日田市
6月30日	軟式野球	天瀬町
7月7日	ソフトボール	大山町
	卓球	天瀬町
	柔道	大山町
	クレー射撃	玖珠町

日程・会場ともに予定です。

※詳しい問合せは、教育委員会へ

「中津江村の文化財」 できました

中津江村の文化財誌がリニューアルされました。写真をふんだんに取り入れ、県指定の文化財から神社仏閣まで、資料編も含めて40ページの冊子の中で、23ヶ所の文化財を分かりやすく解説しています。

希望される皆様には、教育委員会から配布いたします。是非お宅の蔵書に加えてください。配布期間は5月16日から5月31日まで。各世帯1冊ずつとなっています。

お申込は教育委員会(☎54-3722)へ、お早めに。



中津江村の文化財誌がリニューアルされました。写真をふんだんに取り入れ、県指定の文化財から神社仏閣まで、資料編も含めて40ページの冊子の中で、23ヶ所の文化財を分かりやすく解説しています。

希望される皆様には、教育委員会から配布いたします。是非お宅の蔵書に加えてください。配布期間は5月16日から5月31日まで。各世帯1冊ずつとなっています。

つれづれ

春が一足早くやってきた今年、ゴールデンウィークも梅雨のように、すつきりしない日々が続いた。

季節に節目があるように、人生にも多くの節目が用意されている。若い頃には気にもとめなかった「不惑」や「還暦」、そして「厄年」。

余り深く考えたことなかったこうした節目が、歳を重ねるに従い、体の衰えと物覚えの悪さとともに、身にしみて来るようになった。

テレビのCMではないが、気持ちだけは若い頃のままなのに、体と頭がついていけない。御前様が続いていると、次の日が仕事にならない(当たり前か)。眠たい目をこすりながら書いているこの文書も、次第にしどろもどろに……。

占いや迷信、言い伝えなど、余り気にしないつもりであったが、最近の自身に降りかかる災難に、まさか「厄年」!?とこっそり仏様に手を合わせてみたり酒飲みの回数を減らしたりと、柄に合わない行動をとっている。ま、半分以上は自分の不注意であるが……。

全国で二度目の本厄となる人は、約七十八万人。日頃から仏様に手を合わせていれば、こんな反省もしなくていいのだろうか。

地球温暖化による季節の変動のように、人生に節目に激変が起きないように望むばかりである。